

茂木大臣のチュニジア、モザンビーク、南アフリカ、モーリシャス訪問（概要）

令和2年12月
アフリカ部
中東アフリカ局

1. 概要

- 12月8日から14日にかけて、茂木大臣は**就任後初**となるアフリカ訪問を実施。**2022年 TICAD8開催国のチュニジア及びインド洋に面する南東部アフリカ3か国**を訪問。
- 日本の外務大臣のモーリシャス訪問は史上初、南アフリカ訪問は10年ぶり。
- チュニジアでは大統領、首相、国務長官、モザンビークでは大統領、外相、南アフリカでは外相、モーリシャスでは首相、外相と会談。別途、南アフリカ大統領からの電話があった。

2. 主な成果（総論）

以下を通じ、アフリカでも「**包容力と力強さを兼ね備えた外交**」を力強く推進。

- (1) 各国ハイレベルと「**自由で開かれたインド太平洋**」の実現への協力で一致。
- (2) コロナ対策支援を進めつつ、**ポスト・コロナを見据えたビジネス関係の強化**のため、アフリカ経済を後押しするとともに、ビジネス促進のための協力を確認。
- (3) 2022年TICAD8開催国であるチュニジアはじめ、TICADプロセスを通じ、各国と**TICAD8に向けた連携・協力を確認**。
- (4) 北朝鮮情勢、東シナ海及び南シナ海等の地域情勢等について議論し、連携を強化していくことで一致。北朝鮮に関して、**拉致問題の早期解決**に向けて、引き続きの理解と協力を要請し、**各国から支持を確保**。



3. 各国の具体的成果

チュニジア

- **経済・社会安定化のための改革を引き続き支援**する旨伝達し、TICAD8に向けて経済分野を含め二国間協力を深化させていくことで一致。漁業資源管理指導船2隻の供与（無償資金協力）に係る交換公文に署名。
- リビアを始めとする地域情勢についても意見交換を行い、中東・北アフリカ地域の安定と繁栄に向けた引き続きの連携で一致。



モザンビーク

- 日本が官民を挙げて協力している**ナカラ港開発**の重要性で一致。また、**来年2月の貿易・投資促進官民合同ミッションの派遣を伝達**した他、カーボデルガード州の治安改善への更なる取組を要請。先方は取組の強化を約束。
- **海上法執行分野での能力強化**を通じて地域の安定に貢献したい旨伝達。沿岸警備隊への海難救助機材供与に係る無償資金協力の交換公文に署名。ニアッサ州給水施設建設や廃棄物処分場への重機供与に係る無償資金協力の交換公文に署名。



南アフリカ

- 新型コロナからの経済の回復におけるビジネスの重要性を踏まえ、ビジネス関係や人的往来の更なる促進で一致。また、様々な分野での二国間協力の強化のため、**「日・南アフリカ・パートナーシップフォーラム」を早期開催することで一致**。
- **AU議長国及びアフリカ唯一のG20メンバー**として、二国間関係のみならず地域の課題、アフリカ全体の課題、更には国連安保理改革等を含む国際場裡の様々な問題に至るまで、多岐に亘る課題につき議論し、一層の協力を行うことで一致。



モーリシャス

- 8月の**油流出事故を受けた日本の協力の進捗状況**について議論。
 - ① 来年1月には、JICA調査団の調査結果を踏まえて、環境・漁業分野の技術協力プロジェクトを開始予定
 - ② 海難防止の技術協力プロジェクトを早期に実施予定、海上航行監視を支援する無償資金協力を準備中
 - ③ 経済の回復・後押しのため、**来年2月の貿易・投資促進官民合同ミッション派遣を伝達**するとともに、300億円の緊急支援円借款の要請を前向きに検討。
- 防災関連機材供与（無償資金協力）に係る交換公文に署名。
- 油流出事故の現場を視察した他、モーリシャスで活動中のJICA調査団から調査の進捗報告を受け、調査の労をねぎらった。

